

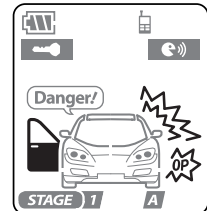
充実の警報履歴通知機能

ボタン操作時の警報履歴通知機能

リモコンが異常感知通報を受信した場合、最初のリモコンボタン操作時に警報履歴を表示させる機能です。リモコンへの通報に気づかなかった場合でも、ボタン操作時に再度警報履歴を表示することで、見逃しを防止します。

- 【メモ】
- ・車両側の警報やリモコンの通報音を停止させた場合は、ボタン操作時の警報履歴を通知しません。
 - ・ボタン操作禁止設定されている場合は、(SETG)ボタンでのみボタン操作時の警報履歴を通知します。

警報履歴通知例



【リモコン】リモコンのボタンを押すと「履歴があります。履歴があります。」と発声します。

【メモ】 マナーモード時は、音を発しません。

【液晶画面】

- ・バックライトが点灯(赤色)。
- ・直近で感知したセンサー(🚗🔊🔊)を点滅表示し、消灯。

定期通信による警報履歴通知機能

警報履歴を本体からリモコンへ定期的に通信する機能です。リモコンが通信圏外にあった場合でも、定期通信「約3分に一度」を行うことで、リモコンへ警報履歴を確実に通知します。なおリモコンの液晶画面に感知したセンサーを表示しませんので、確認したい場合は、32ページの「警報履歴を確認する」を行ってください。

警報履歴通知例

リモコンが通信圏内に入り、本体からの定期通信をリモコンが受信すると「履歴があります。履歴があります。」と発声します。ただし、一度通知されたセンサーよりも、危険度レベルの高いセンサーが反応しない限り警報履歴を通知しません。(マナーモード時は、音を発しません。)

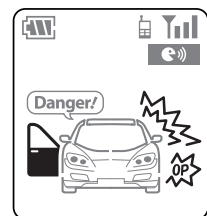
感知したセンサーの危険度レベルは下表の通りです。

ドアスイッチ センサー	オプションセンサー レベル1	振動センサー大振動 オプションセンサーレベル2	振動センサー小振動 オプションセンサーレベル3
危険度レベル			
高	←	→	低

警報機停止時の警報履歴通知機能

リモコンが異常感知通報を受信した場合、警報機停止操作時に警報履歴を表示させる機能です。警報機を停止したときに警報履歴があったことを再度表示し、再認識していただきます。

警報履歴通知例



【リモコン】リモコンの(RST)ボタンを押すと「警戒を解除しました。履歴があります。」と発声します。

【メモ】 マナーモード時は、音を発しません。

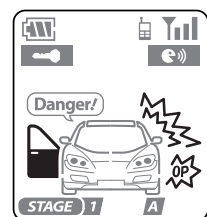
【液晶画面】

- ・バックライトが点灯(赤色)。
- ・感知した全てのセンサー(🚗🔊🔊)を点滅表示し、消灯。

電源投入時の警報履歴通知機能

リモコンの電源投入時に車両の状態を確認する機能です。警報機動作中にリモコンの電源が切れてしまった場合でも、電源投入時に車両の状態を確認することで、警報履歴を確実に通知します。

警報履歴通知例



【リモコン】リモコンの(RST)ボタンを押すと「ピロリッ」履歴があります。」と発声します。

【メモ】 マナーモード時は、音を発しません。

【液晶画面】

- ・バックライトが点灯(赤色)。
- ・感知した全てのセンサー(🚗🔊🔊)を点滅表示し、消灯。

充実の安心機能

警戒パターンメモリー機能

警報機が動作中に警報機の電源(バッテリー等)が切られた場合でも、電源が切られる前の状態を警報機が記憶し、電源が再投入された時点から再度警戒を開始する機能です。行為的に電源が切られた場合でも、警報機は自動停止しません。

本体のオートスリープ機能

バッテリーを保護する機能です。3つのモードで段階的にバッテリーの消耗を抑え、バッテリーの負担を軽減します。

省エネモード

7日間連続で警報機を動作させた場合、省エネモードに入り、ドアスイッチセンサー以外のセンサーを全て停止します。またアンテナユニットのLED表示も遅い点滅となります。ただし、スリープモード1の条件(14日間エンジンを始動しない)が、省エネモードの条件よりも先に当てはまると、スリープモード1に入ります。

- 【メモ】
- ・下記以外のリモコン操作を行った場合は、本体受付エラー(Eと3が交互に表示)が表示されます。
 - ・警報機の再動作およびドア再施錠してもハザード表示しません。

【リモコンで行える操作】

- ・警報機の停止／再動作
- ・エンジンの始動／停止(V-10の場合)
- ・警報履歴の確認
- ・ドアの再施錠

【車両側が行える警報】

- ・サイレン／ホーン(選択)
- ・ハザード

【省エネモードが解除される行為】

- ・ドアを開け警報を行った場合
- ・リモコンで警報機を停止した場合

スリープモード1

下記どちらかの条件に当てはまるとスリープモード1に入り、ドアスイッチセンサー以外のセンサーを全て停止します。またアンテナユニットのLED表示も停止します。

【スリープモード1の条件】

- ・14日間連続で警報機を動作させた場合。
- ・14日間エンジンを始動させない状態が続き、そのとき警報機が動作していた場合。

【メモ】 リモコン操作を行った場合は、通信エラー(Eと2が交互に表示)が表示されます。

【リモコンで行える操作】

- ・リモコン操作は、一切できません。

【車両側が行える警報】

- ・サイレン／ホーン(選択)
- ・ハザード

【スリープモード1が解除される行為】

- ・ドアを開け警報を行った場合

スリープモード2

14日間エンジンを始動させない状態が続き、そのとき警報機が停止していた場合、スリープモード2に入り、本体機能を全て停止します。

【メモ】 リモコン操作を行った場合は、通信エラー(Eと2が交互に表示)が表示されます。

【リモコンで行える操作】

- ・リモコン操作は、一切できません。

【スリープモード2が解除される行為】

- ・エンジンキーにてエンジンを始動した場合

リモコンのオートスリープ機能

リモコンの電池容量を確保するための機能です。2つのモードで段階的に電池の消耗を抑え、電池の負担を軽減します。

低電圧モード

アイコン表示が1目盛(🔋)になった時点で、低電圧モードの通知音「ビビビビビビビッ」が鳴り、バックライトとバイブレーションの機能を停止します。

【メモ】 マナーモード時は、音を発しません。

スリープモード

低電圧モードの通知音「ビビビビビビビッ」が鳴ってから約3分後、強制的に電源を切ります。その後は、再度電源を入れることで警報機停止操作(警戒OFF)が、5回程度行えます。このような状態になった場合は、すぐに充電を行ってください。

【メモ】 マナーモード時は、音を発しません。